

第2回家庭教育学級 “楽しもう 知ろう 色の世界” ～ぬり絵で発見 私らしい私～

令和元年11月5日、「子どものアトリエ・アートランド」主宰 末永 蒼生（すえなが たみお）先生を講師にお招きし、第2回家庭教育学級を開催しました。当日は、「家庭教育学級」の考えでもある「保護者同士、地域の人々や教師の学びの場」として学校の垣根を超え他校も含め、大変多くの保護者の方にご参加いただきました。ぬり絵ワークでスタートし、末永先生より色と心の密接な関係を、多くの作品を紹介いただきながら学びました。保護者の持参した子どもの絵を丁寧にみて、子どもとの寄り添いの仕方をアドバイスいただきました。心温まる講演会となりました内容を、一部ご紹介します。



●色は心の言葉

- ・色が語る意味が分かると楽しい！
- ・ピカソの言葉「色彩は救いである」・戦争はモノクロで沈黙を描き、救いがないと語った。悲しみの時代には青を、恋の時期にはピンクを。色で様々な感情が描かれている。子どもはみんなピカソと同じ。色が語る喜怒哀楽で、子どもの心の状態を知ることができる。

●実際に参加者全員、ぬり絵のワークに挑戦



- ・ぬり絵のデザイン画は、先生のこれまでに会ったお子さんの作品も多数。私たち一人一人が同じデザイン画を選んでも、全く別の色合いや意味を載せたものに。
- ・クレヨン、教室で使用しているNEOCOLOR watersolubleのもの。塗りやすく、濡らすと、水彩画のような風合い。
- ・私たちは塗ることに夢中になれる！真っ黒に塗ったとしても、それは自分の内にあるネガティブを出せるということ。ぬり絵は心の浄化ができる。「心の洗濯」をすることをおそれないで！人の感情は表現するとネガティブ→ポジティブに変わる。

●絵で知る子どもの姿

- ・例えば、お絵かきの顔が、○ではなく▽になっていたら・プレッシャーを感じて、平べったく書いているようなことがある。心の状態を知ることができれば、理解し合い、寄り添うことができる。子育てのやり直しはいつでもできる。気づいた時がチャンス。
- ・絵や創作を楽しむと、心と能力が育つのはなぜ？心の発達段階を一步一步進み、自信と幸福感を味わうことができるから。人は、生理的欲求・安全の欲求・愛の欲求・尊敬への欲求が満たされることで、自己実現の意欲が沸いてくる。

●参加した方の感想



- ・これからの時代、人と違う事を認める育て方が大切になってくる話、とてもそう思います。
- ・子どもの可能性を信じて、のびのびとやらせてあげたいです。
- ・久しぶりのぬり絵、楽しく心が落ち着く時間になりました。
- ・ぬり絵や創作によって、気持ちが楽になったり、整理ができることを知れて本当によかったです。自分を解放することで、大人も子どもと一緒に成長していくことができると聞いてホッとしました。
- ・子どもは親を見ているように、私たちも子どもだった頃の思い出、経験が現在の子どもの接し方にも反映していることを知ることができました。

★★ 次回の講演会のお知らせ ★★

1月31日（金）10:30～12:30 塚戸小学校 多目的室にて メイクのちからで、笑顔スイッチON！～笑う“母”には福来る！？～